

第5回日本伐木チャンピオンシップの視察支援について

1 はじめに

盛岡林務部では、若手新規就業者の定着、担い手確保対策を目的とした「林業担い手確保対策事業(地域経営推進費)」を実施しており、これまで作業技術の向上などを図るため安全伐倒競技交流会等を開催してきたところです。

令和6年度事業として、林業事業体の安全意識の向上と若手従事者の指導促進のため、6月1・2日、青森県内において開催された「第5回日本伐木チャンピオンシップ(以下JLC)」を事業体関係者と視察してきたので紹介します。

2 世界レベルのチェーンソー技術

JLCは、伐倒、玉切など5種目で合計得点を競うもので、ジュニアクラス1名、レディースクラス1名、プロクラス3名が世界大会(WLC)へ選出されました。



JLCには若手選手も多数出場しており、入賞者の集中力・技術の高さに興味したところでした。

なお、県内からは6名が出場しましたが、決勝大会には進むことはできませんでした。

3 最先端の安全装備など

JLC会場には、スポンサー企業等のブースが設置され、防護服や無線機付きイヤマフ、開発中のブルートゥース対応・冷却ファン・トランシーバー機能付きのヘルメットなど、最先端の安全装備等が展示されており、同行した事業体関係者からは、「労働災害防止のため導入したい」などの意見があり、安全意識の向上に繋がる機会となりました。



4 おわりに

今回のJLC視察について、事業体関係者からは、「従業員の安全意識向上、労働環境の改善に役立つきっかけとなった」などの前向きな意見があったところです。

また、大会参加に向けては、所属事業体の理解や出場経験者による指導など事業体の体制が重要と再認識した大会でした。

今後、盛岡地区安全伐倒競技会の開催等を通じて安全作業への意識付けを図るとともに、出場選手の交流を促進するなど、JLC出場選手の育成に向けた事業体の支援に取り組んで参ります。